

# 令和5年度地域の絆づくり事業 第1回講座

## 「ジモトーク de 語り合おう！これからの内海」

令和5(2023)年9月7日(木) 13:30~15:30

海南市内海公民館(参加者17名)

### 1. ゲスト：宮本朋子さんのお話

#### 語りから活動へ ～有田市で起こっている変化～

##### 《宮本 朋子(みやもと ともこ)氏》

- ・2000年に有田市社会福祉協議会に入職して以降、社会福祉士として、地域福祉の推進のためにさまざまな活動に取り組まれる
- ・全国社会福祉協議会福祉教育推進委員会の委員となり、福祉教育を進めるために研修等を実施している
- ・地域福祉ネットワーク会議の事務局である有田市社協として、地域住民と共に商店街の空き家を活用した居場所「AGALA」を設立する
- ・「AGALA」を拠点にさまざまな世代が出会い、交流する取組を精力的に実施する
- ・「ゆうわプロジェクト」(福祉教育×地域学習×キャリア教育一体型教育プログラム)で有田市の中学生と地域をつなぐ



##### ○有田市社会福祉協議会の活動

- ・市区町村社会福祉協議会は地元のみなさんと一緒に地域をつくる
- ・地域に暮らす誰もが、安心して自分らしく暮らせる社会をめざす
- ・福祉教育によって、地域に潜在する「偏見・差別・排除・無関心」にアプローチ  
→ **地域住民の意識や態度に変化を生み出す**

##### ○語り合いから居場所づくりへ

- ・語り①…有田市地域福祉ネットワーク会議  
→介護・障害・こども・医療分野の法人(現在15法人)オブザーバーとして有田でも参画)で地域の課題にみんなで挑む  
→語り合いの会議を2016年から毎月1回ほぼ休まず開催!  
→**本音を出し合える会議**

課題：居場所づくり・空き家問題・障害のある方が過ごせる場・商店街の活気



**商店街の空き家を活用した居場所づくりをやってみよう！**

- ・語り②…キックオフ会議
  - 建築士/電気工事/塗装屋/大工/映像ボランティア/学生/趣旨賛同地域福祉ネットワーク会議メンバーが集まった（社会福祉協議会独自のネットワークやSNSで募集）
  - 「AGALA」を**他者との関わりをもつことで自分の存在を実感できる社会的居場所**にしたいという思いがあった！

- ・語り③…箕島自治会長、公民館長、民生委員への同時ヒアリング
  - 初めて地元のビッグネームがそろって「箕島」について語った！  
〈ワークショップで見えてきたこと〉

**障害者との接点のなさ**



**接点がないなら接点をつくろう**



**商店街の空き家を活用した居場所づくりの中に、障害者の居場所や雇用という課題解決を取り入れよう**

- ・語り④…「AGALA」の設計・工事
  - 思いをもって集まってくれた地域の専門職の方々が、**丁寧に語り合いを重ね**、ボランティアで工事を進めてくれた

- ・語り⑤…「AGALA」を拠点に、小中学校、高校、大学、商店街、商工会議所、企業を巻き込んだイベントを開催
  - こどもカフェ…こどもが店員となって活躍する
  - クイズラリー…昔の商店街を知ってもらう
  - 物産展

**★こどもが自分の思いを遠慮なく出せる雰囲気があった**

**★イベントの開催をとおして、世代の違う人たちやこれまで接点のなかった人たちの間に語りが生まれた**

- ・語り⑥…アガリエ
  - 箕島の4つの商店街が初めてタッグを組んで昔使っていた商店街中の照明をかき集めて、「AGALA」をイルミネーションでライトアップ
  - 商店街で新たな動きが生まれた



- ・語り⑦…AGALA 食堂
  - 地域の有志が集まり「あがらの町を自分たちで盛り上げよう！」
  - おしゃべりすることが楽しみで集まる方も増える（現役の子育てママ）
  
- ・語り⑧…マモッチャクラブ
  - 南海トラフ巨大地震や大雨などの災害から子どもを守りたい
  - 一人のお母さんの発信から仲間が集まり、マモッチャクラブ（ママ+チャイルド+守っちゃる）が誕生
  - 子育てやお仕事をしながら活動 リフレクションがさらに次の活動を生む
  - お母さんたちが防災士の資格を取得し、さらに活躍の場を広げる
  
- ・語り⑨…マモッチャクラブに大学生（地域の外の人たち）を入れた語り
  
- ・語り⑩…令和5年6月2日の大雨の被害を記録に残し、次の啓発につなげる
  - つながりで地域の避難訓練も充実

- ★「AGALA」という拠点ができることで、住民同士の「何気ない関係性」できていった
- ★障害がある方や学校に行きたくても行けない子どもたちにとって、家でも学校でもない第3の居場所ができた
- ★「AGALA」に関わる人たちの思いが集まり、さまざま活動につながっている（関わった人たちが生き生きしている）

### ○質疑応答

Q.「つながり」をどうやってつくった？

A. 学校を巻き込むために、校長先生を入れた実行委員会を組織した。まずは、少ない人数でも集まる場をつくり、ネットワークを少しずつ広げていった。

Q.「AGALA」の運営ってどうなってるの？

A.「AGALA」と共に設立した一般社団法人大地が管理運営している。最初はA型事業所だったが、雇用契約上、儲けを出さなければいけなかったため、経営が難しかった。障害者の方の居場所としての役割も果たす「AGALA」を継続していくことを優先すべきと考え、B型に移行した。「AGALA」の活動でできたつながりを活かして、人材センターなどからも仕事をもらえるようになった。障害者に対する偏見も実績によって地道に解消している。

Q.土日の活動などは、子どもは参加できている？

A.子どももちろんだが、人手不足や働き方改革で先生方に来てもらうのも大変。なかなか人は集まらない。ゆうわプロジェクトは、完全に授業の時間を当てている。時間はないけれど思いはある。コツコツといろんなところで顔つなぎをしたり、関係をつくらしたりすることが大事

## 2. 地域の大人によるジモトーク

参加者が4, 5人のグループに分かれ、内海が「こんな地域になったらいいな」をテーマに、それぞれが考える

→ジモトーク（語り合う活動）をとおして期待できる効果

- 参加者同士の良好なつながりが生まれる
- 新たな取組が生まれる
- 地域の課題が解決する

①「あったらいいな」や「やってみたいな」を具体的に交流する



②ジモトークの内容を踏まえ 今後の活動のスローガンを考える

→「みんな一緒に〇〇内海！！」

- ★「〇〇」にはこれからの取組が入る
- ★「〇〇」は無限（∞）



## 3. ゲストからの助言

例えば、「居場所」という言葉一つ取っても、それぞれの思い描くイメージはバラバラだと思うので、どういうところで、だれがいて、どんな場所にするのかは、語り合いをとおして突き詰めていけばよいと思う。

それぞれのイメージを語り合いによって擦り合わせることで、一つの目標に向かって進めると思う。

そのためにも、**地域で語り合うことを日常化できる**といいと思う。

## 4. ふりかえりシートから

### ○ ゲストのお話について

- ・「AGALA」を参考に地元（「AGALA」のような場所を）作りたい。中学生、高校生、大学生、小学生をまじえてやれることがうらやましいです。（冷水地区ではこどもが10人不足）
- ・若い世代、企業、団体、高齢者、障害者、みなさんが連携し、地域をつくっているのだなと、そのつながりをつくることは大変だけど、楽しいだろうなと感じました。
- ・なつかしい有田市の取組、大変参考になりました。
- ・社協のつながり、広げ方を学びました。色んな地域の方と語って、語って、良い地域づくりを目指したいと思います。
- ・想いのこもった「AGALA」。目からうろこの思いでした。
- ・多くの意見等をいただき、今後の活動の励みになりました。
- ・地域の事を考えている人が多いのに気付かされました。
- ・有田の取組をお話いただき、地域ですばらしい活動をされていることを知り、学ばせていただけました。いろんな思いが1つになって、大きな力になっていけるのだとわかりました。
- ・宮本さんのお話を聞き、自分たちの知らない活動やその悩みを知る事ができて良かった。
- ・宮本朋子様の取組を聞いて感心しました。少しでも近づけたらいいな。
- ・「語る」ことの、「語り合える」ことのすばらしさを感じました。また、それを行動に移していることもすばらしいと思いました。

### ○ 本日の「学び」や「つながり」を今後どのように活かしていきたいか

- ・人それぞれに思いや考えがあるので、やりたいこと、教えてほしいことの見解が出て楽しかったです。
- ・内海地区についてどんな所なのかを知れて良い機会でした。様々な役割のある方々が集う機会、自由に話せる場は大切だと思いました。
- ・ジモトークで話しているうちに新しい視点が浮かんだり、共感することも多かったです。「おはよう」は交わしているけど「おかえり」、「ただいま」を交わせる地域は温かいですね。
- ・（これまで、）なかなか語れること（機会）がなかったので、楽しかったです。内海愛が伝わりました。次に進めていきたいです。
- ・各人の種々の思いが聴けました。
- ・今回を元に今後もつづけて、話し合いをできるように進めていけばと思います。
- ・積極的に意見が聞けてよかった。将来が少し見えた気がしました。
- ・グループで意見を聞き合い、思いを出し合い、楽しく語り合えたように思います。助け合い、支え合えることが大切。

- ・地域の方々の思いをざっくばらんに話せて、とても楽しい時間を過ごせました。みんな地域を何とか良くしたいと思っている事がよく分かりました。
- ・「ジモトーク」楽しい。

